

### 瑠璃光寺 (富士見市 諏訪)

鶴瀬駅から市役所に向い、ヤコー先の信号を右折、氷川神社を左手に見て坂を下ると右手に瑠璃光寺があります。

平安時代末期に、薬師瑠璃光如来を本尊に祀り開創された由緒ある古刹です。山門では石造りの仁王様が迎えてくれます。

進むと、樹齢500年以上の樫の木(イチイ科)があります。樹に触れてパワーを浴びてください。石段を上ると、建て替えられた本堂があり、正面に薬師如来と十二神将、左に釈迦十大弟子、右に仏教・天台大師の像が威かな姿で祀られています。思わず合掌……境内には、六地藏、千手観音像等が並んでいます。

「宝龍山延命瑠璃光寺」は関東霊場第三十一番札所です。眼病治療等に効験ありとか、延命もお願いするのもよいでしょう。

お参り後、坂を下ると図書館に到着します。富士見市の歴史を紐解くのも楽しめます。(吉田)



### 下鶴馬氷川神社 (富士見市 鶴馬) 夏のお祭りのはなし

この集合写真は昭和13年夏の下鶴馬氷川神社の鶴馬関沢のお神輿担ぎの皆さんです。場所は現在の鶴馬関沢集会所の前です。この皆さんはお祭りの何週間も前から神社に集まり、きれいな色紙でお花を作り、竹ひごにつけたお飾りをつくりました。

お祭りの「天王様」当日は大勢の子どもたちがお神輿を担ぎ地域のお宅をまわり厄除けにお花を配ります。この日はやはり鶴馬・関沢地区は大変にぎやかな日になったようです。

この写真からみんなの張り切っている様子が分かります。何せ私は当時4歳でしたから記憶はあまりなく、前列中央の私の長兄からいろいろ聞きました。(萩原)



### 地藏院 (ふじみ野市)

地藏院は一三二四年寛応上人の開基といわれています。鎌倉から南北朝時代前期の武将二階堂氏が武蔵の戦さの時、不思議な靈験を見て寺を再興し祈願寺としました。二階堂氏の子孫は六郷氏と名前は変わったが大名となり、明治になるまで地藏院を保護していました。



写真提供/地藏院

だが昭和27年の火災で本堂、仏具、大般若経600巻等、そのほとんどが焼失しましたが、山門とご本尊、また十三仏掛軸、涅槃図等の什物が焼失を免れました。現在の地藏院には樹齢400年近い枝垂桜があり、ふじみ野市の指定天然記念物になっています。数年前に訪ねた時には大勢の人たちが見事な桜を見に来ていました。添え木に支えられ、柵に囲まれた枝垂桜の古木はまだまだ美しい花を咲かせてくれそうです。傍には大晦日の鐘を打つ鐘楼があります。境内には薬師如来を祀る薬師堂があり、目の病にご利益があると言われています。お寺のホームページに、蓮の花や、コスモスが美しく咲いている写真が掲載されているので、機会があれば訪ねてみたいですね。お寺は旧川越街道に面していて、旧大井町支所の近くにあります。(熊井)



(西角)

水宮家は古より修験者(山伏)として活動。室町時代には魔訶山般若院が建立されているようです。水宮神社の宮司さんには自宅を建て替えるとき地鎮祭でお世話になりましたが、失礼ながらお参りに行ったことはありませんでした。初めてお参りすると、子蛙を背中に乗せた大きな蛙が迎えてくれました。きれいに整備された参道には、いろいろな姿の蛙が並んでいます。神社にはよく狛犬が並んでいます。この狛犬は狛蛙。手水所にも蛙がいます。この地にある蛙の伝説に由来するようです。

お隣には大應寺があります。

## 神社・仏閣巡りはいかがですか

富士見市や近隣の市町には神社・仏閣がたくさんあります。その歴史は古く、私たちの生活にも深くかかわっています。また、大きな木やお花などで有名なところもあり散策路として訪れることも多いと思います。

今月号では、その中のいくつかを編集委員の思い出とともに紹介します。皆様のお気に入りはどこでしょうか。

### 多聞院 (所沢市)

所沢市になっていますが、二芳町との境にあります。多聞院は、一六九六年、柳沢吉保が開拓農民の心の拠り所とするため創建しました。毘沙門堂には、武田信玄の守り本尊であった黄金の毘沙門天が祀られています。

お庭には多種多様な草木が植えられていて季節ごとに訪れる人を楽しませてくれます。毘沙門堂の周りには虎の置物が所狭しと並べられています。寅年だから? 調べてみると虎は毘沙門天のお使いであり、身代わり虎として奉納された虎であるようです。近くには多福寺があります。(西角)



### 諏訪神社 (富士見市 諏訪)

上鶴馬諏訪神社は室町時代に創祀されていたといわれ、昔より悪病よけ厄除けの守り神として信仰厚く、毎年8月28日の例大祭には獅子舞が奉納され大勢の人が参拝に訪れます。

私が鶴瀬に来たのはまだ入間郡富士見村の時代で、あるとき諏訪神社と隣の氷川神社に偶然行ききました。それから二十何年か経ち、息子が5歳、娘が3歳のときに七五三のお参りに、親父と女房の母親とで諏訪神社に行きました。私の兄弟の子どもたちも七五三に諏訪神社に連れて行ってだったので親父は何度も行って、神社の油絵を何枚か描いていました。今もその絵はあります。その絵を見ると子どもを七五三に連れて行ったときの事や、親父や義理の母のことが思い出されます。いつかゆっくり散歩でもして昔を思い出したいと思います。(笠原)



父の描いた油絵